

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	駒津 幸男
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3416
事務事業名	4170 松くい虫防除対策事業										
所 属	150100 産業振興部・農林課										
施 策	05012300 森林の多面的機能の維持保全と共生										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費									
	事業	020000 松くい虫防除対策事業									
事業目的						事業概要・効果					
松林に甚大な被害を与えるマツノザイセンチュウの媒介であるマツノマダラカミキリの発生防止のため、薬剤散布及び被害木の早期駆除を行う。						赤松は臥竜山などの積悪な土壌にも育成し、土砂の流出防止、崩壊防止等山林の保全に重要な役割を果たしている。被害防止の充実に図ることにより、市民の憩いの場として自然環境を後世に伝えられる。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	被害木伐倒駆除事業 693m ³ 961本 地上薬剤散布事業 21.25ha
平成26年度 予定	平成27年度 予定
被害木伐倒駆除事業 462m ³ 予定 地上薬剤散布事業 21.25ha予定	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		24,497	18,027
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	11,949	7,863
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,548	10,164
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.3
総額		24,497.0	18,027.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	24,497	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	18,000	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	27	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	近隣市町村で松くい虫の発生が増えたが、防除事業を行っていることにより適正に管理されている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	同上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	補助要望や追加要望に積極的に取り組み予算獲得に努めた	

振り返り（決算年度の取組み課題）

守りたい松林（臥竜山、松茸山等）や周辺松林などのエリア分けや、樹種転換など考えていかないと予算が厳しくなる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

目だった大きな被害はなかったが、今後どこを残すのかを再検討し計画していく必要がある

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

全国的な傾向から、膨大な森林被害が想定されるが、まず、できることからその対策に、引き続き取り組む。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--